

事務事業名		市田柿生産体制強化支援事業			会計	一般会計		事業種別			政策	開始	19	終了	
課等名	農業課	係等名	生産振興係												
基本計画上の位置づけ	政策	1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり												
	施策	12	未来を見据えた地域産業の魅力、強み、人材の強化												
目的	対象(誰・何を)	市田柿			対象指標	指標名及び単位				24年度数値					
	意図(どういう状態にするか)	生産(栽培・加工)体制を強化する。				市田柿生産者数(戸)(農林業センサス)				2752					
	向上させたい上位施策の成果指標	既存農業者の産出額(農業):億円													
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)						
	成果指標	特認生産者認定数(累計戸数)			10	9	20	50							
	成果指標	市田柿栽培面積(ha)(下伊那全域)			493	493	500	510							
定性目標															
事業概要	<p>南信州地域の財産である市田柿のブランド力を更に高めるために生産団体、関係機関と連携して次の取り組みを進める。</p> <p>1 生産体制の強化 (1) 苗木導入による栽培拡大 (2) 新規園地拡大への支援 (3) 遊休柿園の復活 (4) 作業支援体制の検討</p> <p>2 加工体制の強化 (1) 衛生管理・高品質化技術・設備の導入支援 (2) 生柿の集荷加工体制の整備検討</p> <p>3 生産技術の向上 (1) 加工技術の巡回支援</p> <p>4 市田柿特認生産者(市田柿を地域の中核として先導的に生産する農家)の育成及び支援</p>														
	事業内容														
24年度事業内容	事業内容				名称				活動指標						
	<p>1 生産体制の強化</p> <p>(1) 苗木導入補助</p> <p>(2) 園地拡大補助</p> <p>(3) 耕作放棄地を活用した柿園整備</p> <p>2 加工体制の強化</p> <p>(1) 衛生管理・規模拡大のための加工施設整備支援 対象:選果機・乾燥施設・パイプハウス等</p> <p>(2) 衛生管理・品質向上のための機器導入支援 対象:吸引式皮むき機等</p> <p>3 市田柿特認生産者制度の創設</p>				<p>1</p> <p>(1) 苗木導入本数</p> <p>(2) 新規樹園地整備面積</p> <p>(3) 遊休農地再生作業員</p> <p>2</p> <p>(1) 施設整備数</p> <p>(2) 機器導入数</p> <p>3 市田柿特認生産者認定数</p>				<p>1</p> <p>(1) 1,844本</p> <p>(2) A=8.8a</p> <p>(3) 2人</p> <p>2</p> <p>(1) 65施設</p> <p>(2) 2台</p> <p>3 9人</p>						
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足									
事業費計(千円)①		7,280	11,058	10,920	6,377	[24特定財源]									
国庫支出金		735				(県)緊急雇用創出事業補助金(10/10)									
県支出金		5,160	4,200	4,870		(県)園芸特産振興事業補助金(1/2以内)									
起債															
その他															
一般財源		1,385	6,858	6,050	6,377										
人件費計(千円)②		923		1,359											
正規職員所要時間		258		380											
臨時職員所要時間															
総事業費①+②		8,203	11,058	12,279	6,377										
事業内容・目標達成状況の振り返り	<p>市田柿の生産量確保と品質向上、また市田柿ブランドの維持に繋がる生産体制を強化するため、新たに特認生産者認定制度を創設した。また認定農業者に対する補助制度の拡充を図り、規模拡大生産者の支援整備に努めてきた。中核的農家の生産量確保と、産地を支える中小農家の生産工程の効率化や労力の補完につなげるため更に支援が必要である。</p>														
改革改善の考え方	①問題点	H26年度からの皮むき機脱針化や、H25年4月の凍霜害、また生産者の高齢化といった状況の中、中核的農家の生産量確保と、産地を支える中小農家の生産工程の効率化、また労力の補完につなげる更なる支援が必要である。													
	②改革提案	中核的農家への規模拡大の資金補助や遊休化する園地の幹旋。中小農家には省力化や効率化を図る設備導入資金の補助等、新設制度の周知、活用を図る。凍霜害については再生産支援など早急な対応を検討する。													